

Table of Contents

実習ラボの概要：HOL-1756-MBL-1 - Horizon Cloud with Hosted Infrastructure：詳細確認と管理	2
ハンズオン ラボのガイダンス	3
免責事項（ベータ版）	5
モジュール 1：Horizon Cloud with Hosted Infrastructure の概要	6
Horizon Cloud with Hosted Infrastructure の概要	7
モジュール 2：Horizon Cloud テナントの設定と構成	11
はじめに	12
ハンズオン ラボの対話型シミュレーション：テナントの設定と構成	13
モジュール 3：Horizon Cloud デスクトップの管理	14
はじめに	15
ハンズオン ラボの対話型シミュレーション：デスクトップの管理	16
モジュール 4：アプリケーションの管理	17
はじめに	18
ハンズオン ラボの対話型シミュレーション：アプリケーションの管理	19

実習ラボの概要：
**HOL-1756-MBL-1 -
Horizon Cloud with
Hosted Infrastructure : 詳
細確認と管理**

ハンズオン ラボのガイダンス

目次を表示するには、ハンズオン ラボ マニュアルの右上の [目次] をクリックします。

このハンズオン ラボの対話型シミュレーションでは、サービスとしてのデスクトップ (DaaS) の意味を明確にしたうえで、DaaS を標準の仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) と比較し、VMware Horizon Cloud が業界をリードするサービスである理由について説明します。その後、受講者各自が Horizon Cloud 環境を設定する手順をシミュレーションで確認します。

ハンズオン ラボのモジュールリスト：

モジュール 1： Horizon Cloud with Hosted Infrastructure の概要 (15 分： 基本レベル) ： Horizon Cloud の概要を簡単に紹介します (情報提供のみ)。

モジュール 2： テナントの設定と構成 (15 分： 基本レベル) ： Horizon Cloud 管理コンソールの初期設定を詳しく説明します。

モジュール 3： デスクトップの管理 (15 分： 基本レベル) ： イメージを作成してデスクトップを割り当てます。

モジュール 4： アプリケーションの管理 (15 分： 基本レベル)

チーフ

マーク・リチャーズ (Mark Richards)、EUC スペシャリスト、スタッフ システム エンジニア (オハイオ州コロンバス)

コンテンツ リード

ジム・ヤニック (Jim Yanik)、EUC テクニカル マーケティング、シニア マネージャー (ミネソタ州ミネアポリス)

リック・ターレップ (Rick Terlep)、EUC テクニカル マーケティング、EUC アーキテクト (イリノイ州シカゴ)

実習ラボ責任者：

パメラ・ノリス (Pamela Norris)、シニア テクニカル アカウント マネージャー (イリノイ州シカゴ)

マイケル・マクダネル (Michael McDonnell)、シニア システム エンジニア (イリノイ州ロンバード)

一部の実習ラボは、英語以外の言語でも提供されています。言語設定を変更して翻訳版のマニュアルを実習ラボで使用する手順については、次のドキュメントを参照してください。

<http://docs.hol.vmware.com/announcements/nee-default-language.pdf>

メイン コンソールの場所

1. 赤い四角の領域には、メイン コンソールが表示されます。 実習ラボ マニュアルは、メイン コンソールの右側のタブに表示されます。
2. この実習ラボでは、開始時に 90 分のタイマーが表示されます。 このラボで行った作業内容は保存できません。 すべての作業は、実習ラボ セッション内に完了してください。 時間が足りない場合は、[延長] をクリックして時間を延長することができます。 VMware イベントでご使用の場合は、実習ラボの時間を 2 回まで、最大 30 分延長できます。 [延長] を 1 回クリックすると、時間が 15 分間延長されます。 VMware イベント以外でご使用の場合は、実習ラボの時間を最大 9 時間 30 分延長できます。 [延長] を 1 回クリックすると、時間が 1 時間延長されます。
3. このハンズオン ラボの対話型シミュレーションで行うすべての作業はマニュアル内で行われます。

The screenshot displays the VMware Hands-On Labs main console. The central area, highlighted with a red box and labeled '1', features the VMware logo and the text 'VMWARE HANDS-ON LABS'. Below this, a red arrow points right with the text 'Please use the lab manual to start your lab experience'. To the right, a 'MANUAL' tab is open, showing a table of contents for 'LAB OVERVIEW - HOL-1756-MBL-1 - HORIZON CLOUD-HOSTED INFRASTRUCTURE - EXPLORE AND MANAGE - SR'. A red box labeled '3' highlights the manual content. At the top, a navigation bar shows 'Lab: HOL-1756-MBL-1 - Horizon Cloud-Hosted Infrastructure - E...' and a timer 'TIME REMAINING: 01:17:29' with an 'EXTEND' button and a red box labeled '2'.

免責事項（ベータ版）

この実習ラボセッションには、現在開発中の製品機能が含まれている場合があります。

この新しいテクノロジーに関する実習ラボセッションの概要は、VMware が市販製品にこれらの機能を搭載することを確約するものではありません。

機能は変更される場合があります、したがってどのような種類の契約書、発注書、販売契約書にも含まれてはならないものとします。

ここで述べられたり、提示されたりする新しいテクノロジーまたは機能の価格とパッケージングは、決定されたものではありません。

これらの機能は、現在開発中のものです。記述された機能は変更される場合があります、したがってどのような種類の契約書、発注書、または販売契約書にも含まれてはならないものとします。技術的な問題とマーケットの需要により、最終的に出荷される製品に影響する場合があります。

モジュール 1 : Horizon Cloud with Hosted Infrastructure の概要

Horizon Cloud with Hosted Infrastructure の概要

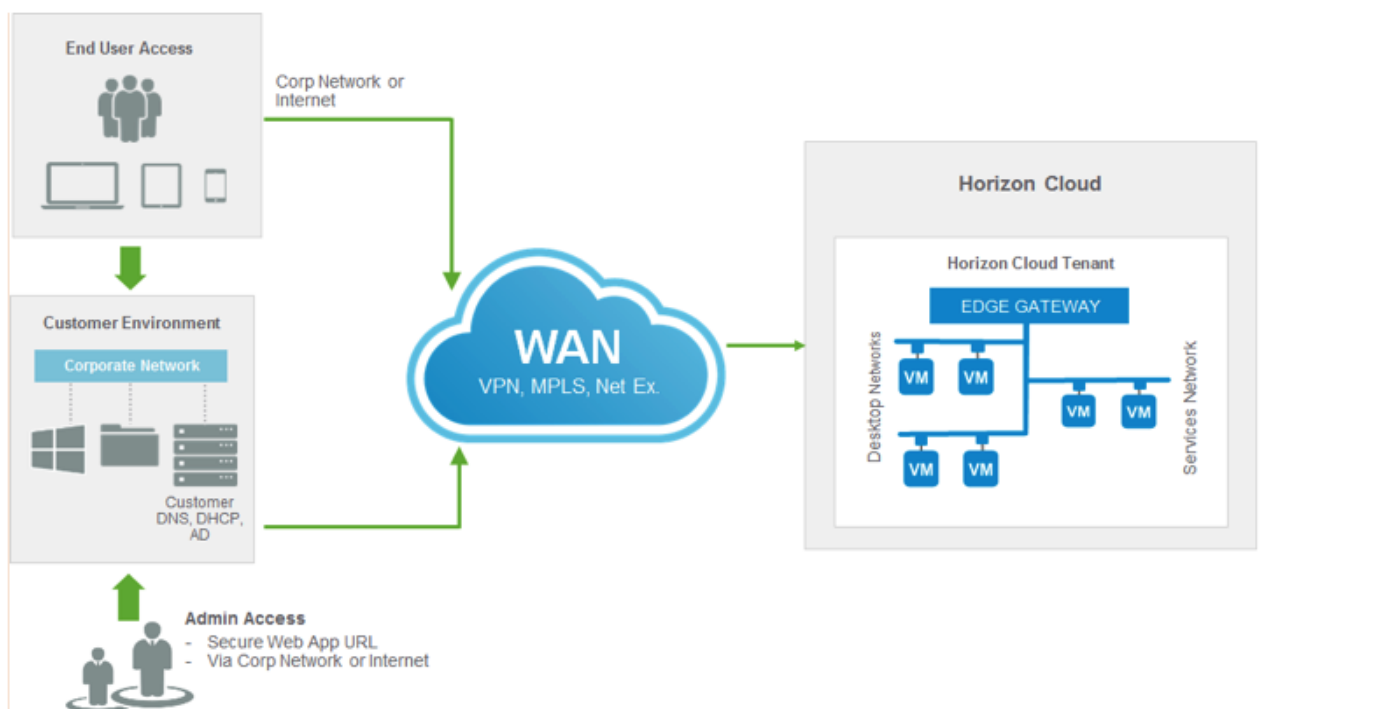
Horizon Cloud のデスクトップとアプリケーションを選択する理由

この章では、デスクトップとアプリケーションの管理と提供を行うための、クラウド環境向けに最適化された機能豊富な新しいサービスである Horizon Cloud について簡単に紹介します。このサービスでは、仮想デスクトップとアプリケーションを提供できるだけでなく、自分でキャパシティを用意するか、VMware からキャパシティを購入するかを選ぶことができます。Horizon Cloud Service は、小規模で始めて、必要に応じてオンデマンドでスケールアップできるように設計されています。

従来のデスクトップとアプリケーションを最新の方法で提供

デスクトップ戦略見直しを行う企業が仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) を検討し始めています。VDI によって、従来の物理デスクトップの問題の多くが解決されることが期待されます。VDI では、デスクトップが企業のデータセンターで実行される仮想マシンに一元化されます。仮想デスクトップをクラウドでホスティングすることで、新しいデスクトップとアプリケーションの導入、各地に分散した従業員のサポートなどの日常業務が容易になり、労力も大幅に軽減されます。ユーザーがリモート技術を利用して仮想デスクトップにアクセスすれば、IT 部門はデータセンターに出入りするデータを細かく制御できます。ローカル デバイスにはデータが保存されないため、パソコンやモバイル デバイスが盗難にあった場合、または紛失した場合の企業のリスクも大幅に軽減されます。

Horizon Cloud は、オンプレミスのインフラストラクチャや VMware が提供するフル マネージド インフラストラクチャなど、複数の導入オプションの選択が可能な専用のクラウド プラットフォームを使用して、仮想デスクトップや仮想アプリケーションを提供します。このサービスは、クラウド環境向けに最適化されたアーキテクチャをサポートしており、Windows デスクトップやアプリケーションを、デバイスや時間を問わず簡単に提供できるほか、柔軟なサブスクリプション モデルにより、簡単に運用を開始して、迅速に拡張できます。



財務面から見た Horizon Cloud を活用する理由

従来の方式によるデスクトップとアプリケーションの仮想化はコストがかさみ、実装に時間がかかりました。また、設定にはたいがい IT の専門知識が必要でした。さらに、デスクトップとアプリケーションをホスティングするインフラストラクチャと、管理インフラストラクチャを購入する必要がありました。

Horizon Cloud に移行すれば、設備投資コスト モデルから、予測可能な運用コスト モデルに切り替えることができます。Horizon Cloud ソリューションはシンプルでありながらも柔軟性と拡張性に優れたソリューションであり、仮想デスクトップとアプリケーションを配置する場所として、オンプレミス、クラウド、あるいはその両方を選択できます。これらはすべて、一元化されたクラウド制御プレーンで管理されます。

Horizon Cloud のコンセプトと機能

Horizon Cloud では、管理インフラストラクチャはクラウドにありますが、組織はデスクトップとアプリケーションをクラウドでホスティングするか、オンプレミスに配置するかを選択できます。Horizon Cloud は、従来のデスクトップやアプリケーションのソリューションと比べて、設定に必要な期間が短く、IT の高度な専門知識も必要ありません。Horizon Cloud によって、予測可能なサブスクリプション ベースの運用コスト モデルに切り替えることができます。Horizon Cloud Service では、1 つのユーザーライセンスを使用して導入モデルを簡単に切り替えることができます。

Horizon Cloud with Hosted Infrastructure をご利用になる場合、ワークスペースは VMware がパブリック クラウドでホスティングします。そのため、サービスとしてのデスクトップとアプリケーションの提供がシンプルになります。これは、デスクトップとアプリケーションの仮想化に関する専門知識をお持ちでない組織にメリットのあるオプションです。クラウドを第一の選択肢に考えている組織やサブスクリプション方式の価格設定を希望される組織に最適です。

Horizon Cloud with On-Premises Infrastructure を利用する場合は、Dell、EMC、QCT、HDS など、広範なパートナー エコシステムの中から IT 部門がパートナーを選択できます。このシナリオでは、管理インフラストラクチャはクラウドにあり、デスクトップとアプリケーションはオンプレミスに配置されます。この導入モデルは、デスクトップとアプリケーションをクラウドに移行したいが、パフォーマンスの向上や法規制、セキュリティを考えるとそれらをエンド ユーザーに近いところに配置したいと考える組織によく選ばれています。支社があり、インフラストラクチャをエンド ユーザーの近くに配置する必要のある組織に役立つ導入オプションです。また、デスクトップとアプリケーションの仮想化を導入したいが、従来の導入方式で必要となる専門知識の習得やインフラストラクチャには投資したくない組織にも適しています。

ビジネス上のメリット

コストの削減と簡素化 **Horizon Cloud** は、利用分に応じた予測可能なコスト算出モデルを採用することで、従来の方式によるデスクトップとアプリケーションの仮想化を大きく変革します。

Cross-Cloud Architecture : **Horizon Cloud** は、クラウド環境向けに最適化された完全なマルチテナント型のアーキテクチャを使用したクラウド導入をサポートするように設計されているため、パブリック クラウド、プライベート クラウド、またはこの 2 つを組み合わせたインフラストラクチャで仮想デスクトップやアプリケーションを提供できます。

デジタル ワークスペース：エンド ユーザーは、使用するデバイス、時間、場所を問わず安全に、これまでにないほど簡単にデジタル ワークスペースにアクセスできます。

将来のニーズへの対応：デスクトップの仮想化をリードする VMware は、さまざまなエンド ユーザー コンピューティング ポートフォリオを提供しており、お客様が既存の投資を最大限に活用して、柔軟にクラウドへ移行できるよう支援します。

ハンズオン ラボの概要

これから、Horizon Cloud テナントの設定をシミュレーションで行います。このラボでは Horizon Cloud with Hosted Infrastructure 環境の設定に焦点を当てますが、On-Premises Infrastructure 導入の設定手順もほぼ同じです。

これから行う手順は次のとおりです。

- テナントの設定と構成
- デスクトップの管理
- アプリケーションの管理

The screenshot shows the Horizon Cloud console interface. The main content area is titled "Applications" and contains a table of installed applications. The table has the following columns: Status, Application, Source, OS, Publisher, Image, Assignments, and Type. The applications listed are:

Status	Application	Source	OS	Publisher	Image	Assignments	Type
●	7Zip-64_Win10_64	AppStacks	Windows 10 (x64)	Igor Pavlov		0	Native
●	AdobeIllustrator-64_Win10_64	AppStacks	Windows 10 (x64)	Various (2)		1	Native
●	AdobeXI-64_Win10_64	AppStacks	Windows 10 (x64)	Adobe Systems Incorporated		0	Native
●	AdobeXI-64_Win7_64	AppStacks	Windows 7 (x64)	Adobe Systems Incorporated		0	Native
●	tectiaclient-64_Win10_64	AppStacks	Windows 10 (x64)	SSH Communications Security C...		0	Native
●	Office2016-64_Win7_64	AppStacks	Windows 7 (x64)	Microsoft Corporation		0	Native
●	Office2013-64_Win7_64	AppStacks	Windows 7 (x64)	Microsoft Corporation		0	Native
●	Office2016-64_Win10_64	AppStacks	Windows 10 (x64)	Microsoft Corporation		0	Native
●	chrome-64_Win10_64	AppStacks	Windows 10 (x64)	Google Inc.		0	Native
●	cutepdf-64_Win7_64	AppStacks	Windows 7 (x64)	Acro Software Inc.		0	Native
●	filezilla-64_Win10_64	AppStacks	Windows 10 (x64)	FileZilla Project		0	Native

モジュール 2 : Horizon Cloud テナントの設定と構成

はじめに

テナントとも呼ばれる Horizon Cloud Service Provider を Horizon Cloud 環境にプロビジョニングしたら、Horizon Cloud 管理コンソールで初期設定を行う必要があります。この管理コンソールでは、テナントのあらゆる管理を行えます。このモジュールでは、テナントをドメインに追加して、管理者権限を設定し、エージェントファイルのインストール場所を設定するほか、システムの全般的な設定を確認します。

ハンズオン ラボの対話型シミュレーション：テナントの設定と構成

このレッスンでは、Horizon Cloud の初期設定の手順を確認します。

対話型シミュレーションであるため、実習ラボ環境に基盤インフラストラクチャを完全導入する必要なく、Horizon Cloud 環境を使用できます。

1. [ここをクリックして対話型シミュレーションを表示します。新しいブラウザ タブまたは新しいブラウザ ウィンドウでシミュレーションが表示されます。](#)

2. 終了したら、[Return to the lab] リンクをクリックするか、ウィンドウを閉じて、この実習ラボを続行してください。

モジュール 3 : Horizon Cloud デスクトップの管理

はじめに

Horizon Cloud の初期設定が完了したら、デスクトップの導入を始める準備が整いました。この実習ラボでは、テンプレートの準備とイメージのカスタマイズの手順を確認します。その後、デスクトップの割り当ての手順を確認します。

ハンズオン ラボの対話型シミュレーション：デスクトップの管理

このレッスンでは、Horizon Cloud の初期設定の手順を確認します。

対話型シミュレーションであるため、実習ラボ環境に基盤インフラストラクチャを完全導入する必要なく、手順を確認できます。

1. [ここをクリックして対話型シミュレーションを表示します。新しいブラウザ タブまたは新しいブラウザ ウィンドウでシミュレーションが表示されます。](#)

2. 終了したら、[Return to the lab] リンクをクリックするか、ウィンドウを閉じて、この実習ラボを続行してください。

モジュール 4： アプリケーション の管理

はじめに

Horizon Cloud でデスクトップを割り当てたら、エンドユーザーにアプリケーションを導入する準備が整いました。この実習ラボでは、RDSH サーバーの準備、AppStack の作成のほか、エンドユーザーに導入する RDSH アプリケーションの割り当てとテストを行います。

ハンズオン ラボの対話型シミュレーション：アプリケーションの管理

このレッスンでは、Horizon Cloud での RDSH テンプレート、AppStacks、アプリケーション割り当ての作成手順を確認します。

対話型シミュレーションであるため、実習ラボ環境で実際に行うと時間がかかりすぎたり、大量のリソースが必要になったりする手順を手軽に確認できます。

1. [ここをクリックして対話型シミュレーションを表示します。新しいブラウザ タブまたは新しいブラウザ ウィンドウでシミュレーションが表示されます。](#)
2. 終了したら、[Return to the lab] リンクをクリックするか、ウィンドウを閉じて、この実習ラボを続行してください。

Conclusion

Thank you for participating in the VMware Hands-on Labs. Be sure to visit <http://hol.vmware.com/> to continue your lab experience online.

Lab SKU: HOL-1756-MBL-1_JA

Version: 20170328-075327